

ウクライナ養蜂家・食品メーカー関係者が来日

～日本の食品製造技術を学び、未来の復興へ向けた一歩～

この度、ウクライナの養蜂業および食品製造業の代表者が来日し、日本の食品製造技術の視察および研修を行います。本プロジェクトは、JICA（国際協力機構）による「ウクライナ経済復興事業」の一環として実施され、ウクライナの養蜂業および食品業界の発展と未来の復興の支援を目的としています。株式会社山田養蜂場（岡山県苫田郡鏡野町、代表：山田英生）は起案者として当プロジェクトに全面的に協力いたします。

現在、ウクライナは困難な状況に直面していますが、本視察を通じて、持続可能な産業の発展と経済復興への道筋を見出すことが期待されています。

◆来日目的

- 日本の養蜂・食品製造技術の視察および研修
- キャンディ製造技術の習得と実現性の検討
- 戦後の復興を見据えた食品産業（養蜂業）の発展
- 日本企業との連携強化による国際協力

◆来日スケジュール

日付	訪問地	主な内容
1/14	山田養蜂場本社	代表者との面談、会社説明、第一工場視察
1/15～1/17	山田養蜂場（お菓子工房・第一工場）	キャンディ生産ライン・石鹸生産ライン視察
1/18	岡山	山田みつばち農園・店舗視察
1/19～1/21	熊本	キャンディ製造企業の視察・研修
1/22～1/26	東京	ウクライナ大使館・養蜂協会・関連施設訪問
1/27	東京	ウクライナへ帰国

◆来日メンバー

- ①Tetyana Vasykivska（ウクライナ養蜂家組合 組合長）
- ②Anatoliy Kharkovnenko（ウクライナ養蜂家組合 事務局長）
- ③Volodymyr Kaplunenko（ウクライナ食品メーカー社長）

◆期待される成果

- 日本の高品質な食品製造技術のウクライナへの導入
- ウクライナの養蜂業・食品産業の発展と戦後の復興支援
- 日本企業とウクライナ企業のビジネスパートナーシップの強化

今回の視察を通じて、ウクライナの食品産業が持続可能な成長を遂げ、戦後の復興に向けた礎を築くことを目指しています。

【メディアお問い合わせ先】

株式会社山田養蜂場 広報室 谷野（ht2065@yamada-bee.com） 早瀬（ch0517@yamada-bee.com）

〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場 194 TEL：0868-54-1906 FAX：0868-54-3346